



『みんなで考える。』

10月2日に中央地区「和」サポート会議で取組まれている「認知症みんなで考える講座」を中央小学校4年生の総合学習で実施されました。

この講座は、「認知症でも安心して暮らせるまち中央地区」を目指して認知症について正しく理解する為の学びの機会として実施されており受講者にはオリジナルのバッジと認知症サポートのシンボルカラーであるオレンジ色の花の苗や種を配布されています。

児童の皆さんは、講座を聞いた後、自分でオレンジの花のイラストを描きオリジナルバッジづくりにチャレンジしました。

中央地区では、各自治会などでも同様の講座の実施やオレンジ色の花を花壇やプランターに植え取組の周知をされています。

少しずつですが、みんなで考えることで認知症に対する正しい理解が広がり安心して暮らせる中央地区になると良いですね。



写真(上)中央地区「和」サポート会議のメンバー
(下)オリジナルバッジのイラストを描く児童

しゃきょうたすけあいフードドライブ

おうちで余っている食料品を提供ください 常時受付中!

生活が苦しいなど、必要とされる方に提供する食品の寄付をお願いします。
賞味期限が2ヶ月以上あり、お米を除き未開封の食料品

レトルト、カップめん、米、缶詰・びん詰、コーヒー・茶、お菓子、乾燥めん類

一品でも多くのご協力をお願いします!



『もったいない を ありがとうへ。』

10月3日に氷上中学校の生徒5名が SDGs についての学習の中で社協が実施しているしゃきょうたすけあいフードドライブについて知りたいと取材に来てくれました!

皆さんが今学んでいることについて教えてもらった後、生徒から「食べ残しをゼロにするにはどうしたらよいか?」などの質問があり、大きな目標の中で丹波市社協が行っている事業がどのような役割を担っているかをお話しました。

今後、取材で聞いたことを参考に自分たちにはどのような取組ができるのか考えるとのことでした。どのような取組につながるのか楽しみです♪

丹波市社協では、本所・各支所・分室にて常時食料品や日用品を受け付け、必要とされている方にお渡ししています。

皆さまのご協力よろしくお願いいたします。



あかはねちゃんが来たよ。

10月5日、ゆめタウンで赤い羽根共同募金の街頭募金活動を実施しました。

当日は、兵庫県共同募金会のマスコットキャラクター「あかはねちゃん」も来てくれて、子どもたちに大人気！

また、氷上西高校の生徒もボランティアとして参加され、「共同募金にご協力お願いします！」「ありがとうございます」と大きな声で呼びかけました。

お客さんからは「ご苦労さまです。がんばってね。」と優しい言葉をかけていただきました。

年末までの期間中、さまざまな所で募金活動をさせていただきます。

みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



みんなの ホビー スペース



氷上町の K さんから投稿のあった作品を掲載します。水彩画なんだった。細かい所まで、塗れていてきれいだね！

みんなも投稿してね→ hikami@tambawel.jp

